

学校だより

11 インディアナ日本語学校
No36(2月) 全校生 317人



新しい友達



ゆり 前田 啓 汰

子どもは言葉を食べて育ちます

「お早うございます」の子どもたちの元気な挨拶が、毎回聞こえることを楽しみにしていますが、中には挨拶が声に出せない子どももいます。大きな声でなくてもいいから、子どもたちには、お互いの挨拶や日本語が、少しでも栄養になってくれることを願っています。本校は、算数・数学、国語などを主体とした勉強を基本としていますが、それ以前に、日本語を大切にしたい学校でありたいと思っています。

- 1 欠席する場合のお願い
○宿題・プリントは、郵送か誰に依頼するのかをはっきり知らせてください。
(人にことづける場合は、学年組と名前を知らせてください)
- 2 幼稚部入園説明会について
○日時: 2月19日 10:00~
○場所: 本校のカフェテリア

文章を書こう

4 年



はやし ゆうと
林 優斗

ぼくは、2011年にフットボールにチャレンジします。Dad's Clubのフットボールチームに入りたいです。なぜかという、フットボールがすきだからです。もし、フットボールができればポジションは、ランニングバックかキッカーになりたいです。ディフェンスのポジションは、セーフティーがいいです。そして、スペルボールという大会にでたいです。なぜかという、ちょっとスペリングに自信があるからです。スペルボールとは、カーメルの学校で全部のスペルボールのチームがカーメルハイスクールに集まって先生が問題を出し、それに答える大会です。各学校は、さいてい8人いなければ出られません。ぼくは、今年スコアキパーでした。スコアキパーとは、学校のスコアをどんどん上げていく人です。そのスコアが一番高い学校が勝ちです。最後は、全部のこもくでいい点を取りたいです。なぜかという、いい成績がもらえるからです。これが、ぼくの2011年にやりたいことです。

5 年



おかの ひろき
岡野 博輝

僕は、5年生のときからボーイスカウトに入っています。入っているトゥーループは、カーメルのトゥーループ112です。コート・オーナーというイベントを年に4回やります。コート・オブ・オーナーは授賞式のようなもので、ボーイスカウトのイベントの中でも、最も好きなものの1つです。ランクが上がったときや、メリットバッジをもらったときは、ここで表彰されます。この1年の中で、僕は、テンドーフト、セカンドクラス、ファーストクラスとランクが上がっていき、7つのメリットバッジをもらいました。今までにももらったメリットバッジは、応急処置、自然、航空日曜大工、法律、野外でのサバイバルスキル、市民活動などです。他の上級生たちは、「ふつうは、これだけもらうのに2・3年はかかるよ」と、言いながら驚いていました。僕は、得意になりました。コート・オブ・オーナーは、50人ぐらい出席しています。スカウトとその家族です。クッキーとジュースを用意されています。いすは、2セクションに分れていて、1つのセクションには、たてと横に5きやくずつの合計25きやくのいすがならべてあります。1番前にスクリーンがあります。今日のコート・オブ・オーナーでは、まず、今までとった写真をスライドショーにして、活動の様子をみんなに見てもらいます。僕のうつっていた写真もあってちょっとはずかしかったです。その後は、いよいよ授賞式です。僕は、自分の名前が早く呼ばれないかと思いました。先週、ファーストクラスを取ったばかりの副隊長が、「では、次、ファーストクラス」と言いました。いよいよ僕の名前が呼ばれる番です。僕をふくめた7人の名前が呼ばれるみんなの前に立ちました。僕は、ファーストクラスのバッジをもらいました。お母さんが、僕の後ろに来てマザーズピンをもらいました。はく手の後、席にもどりました。副隊長が、他のランクの人を呼び出していました。表彰式が終わって、クッキーを食べましたが、クッキーはかんそうして固かったけどおなかですいていたので5・6こ食べました。飲み物も用意されていたので、マウンテンデューを4はい飲みました。

6 年



くさの ゆずは
草野 柚葉

「忘れられない出来事」みなさんは、日本からアメリカへ行く飛行機での気持ちを覚えていますか。私は、とても楽しみでしたが、その分、とても不安でした。私が日本にいた時、父のつごうでアメリカに行くということが決まった時は、とても驚き、少し残念でした。英語は分からないし、友達が出来るかも不安でした。アメリカへ行く日が近づくほど、私はいやな気持ちになりました。なぜなら、日本の友達と別れなくてはならないからです。あの時、私はとても不安でした。でも、実際にアメリカに来てみると、とてもいいところで、友達も親切にしてくれました。初めの頃は、英語も全然分からなくて、友達もあまりいなかったけど、今はアメリカに来たことをとてもうれしく思っています。これからは英語を覚え、アメリカでの生活を楽しんで、たくさんのごんぼうをがんばろうと思います。